



とねしょうかわらばん

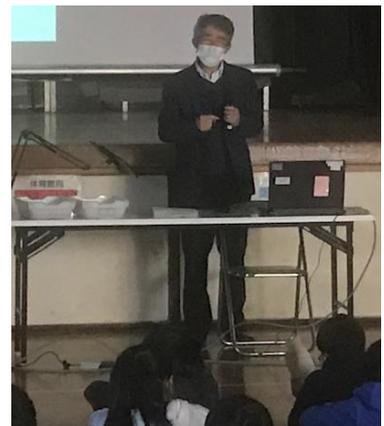
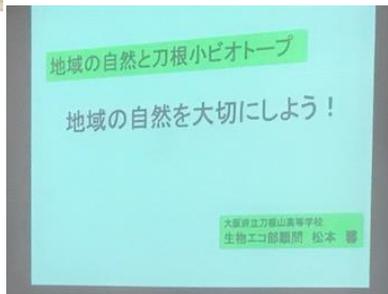
がつ かほん
12月20日版



12月12日(日)の午前9時から約45分間、第十三中学校区の地域教育協議会の取組であります「レッツボランティア」が実施されました。刀根山公園内の落ち葉清掃を行いました。お休みにもかかわらず多数の保護者の方と子どもたち、そして地域の方々がお越しくださいました。大人がほうきで掃き集め、子どもたちがゴミ袋へせっせと落ち葉を詰め込みます。たちまち大きなゴミ袋が23袋にもなりました。朝早くからボランティアをしたことで、みんな清々しい、いい笑顔でお終えることができました。



12月14日(火)の5・6時間目に、「ピオトープおはなし会」を開催しました。ピオトープでお世話になっている刀根山高等学校の松本先生にお越し



ただいて、5年生と6年生に、刀根山に残された自然を守ることの意義や、刀根山に見られる珍しい生き物についてお話していただきました。昔は阪大の辺りから 虫池までずっと森や池があり、キツネやタヌキが見られた話や、人々が生活維持のために森の木を適度に伐採したり芝刈りをしてきたからこそ、森が生き物にとって生活しやすい自然環境となつて受け継がれてきている等、大変貴重なお話が聞けました。来年はどのようなお話が聞けるのか、とても楽しみです。

2年生は、生活科の学習で野菜を育ててきました。今、冬の野菜が収穫の時期を迎えています。子どもたちは毎日せっせと水やりに励んでいました。写真のように、子どもたちの植木鉢で育てた野菜ですので、大きさは望めません。しかし、担任がひとこと「小さい野菜だからこそ、甘さがギュッと詰まっ



っておいしんだよ。」これまで一生懸命育ててきた子どもたちへの何よりもうれしい声掛けだと私は聞いていて心がほっこりしました。